

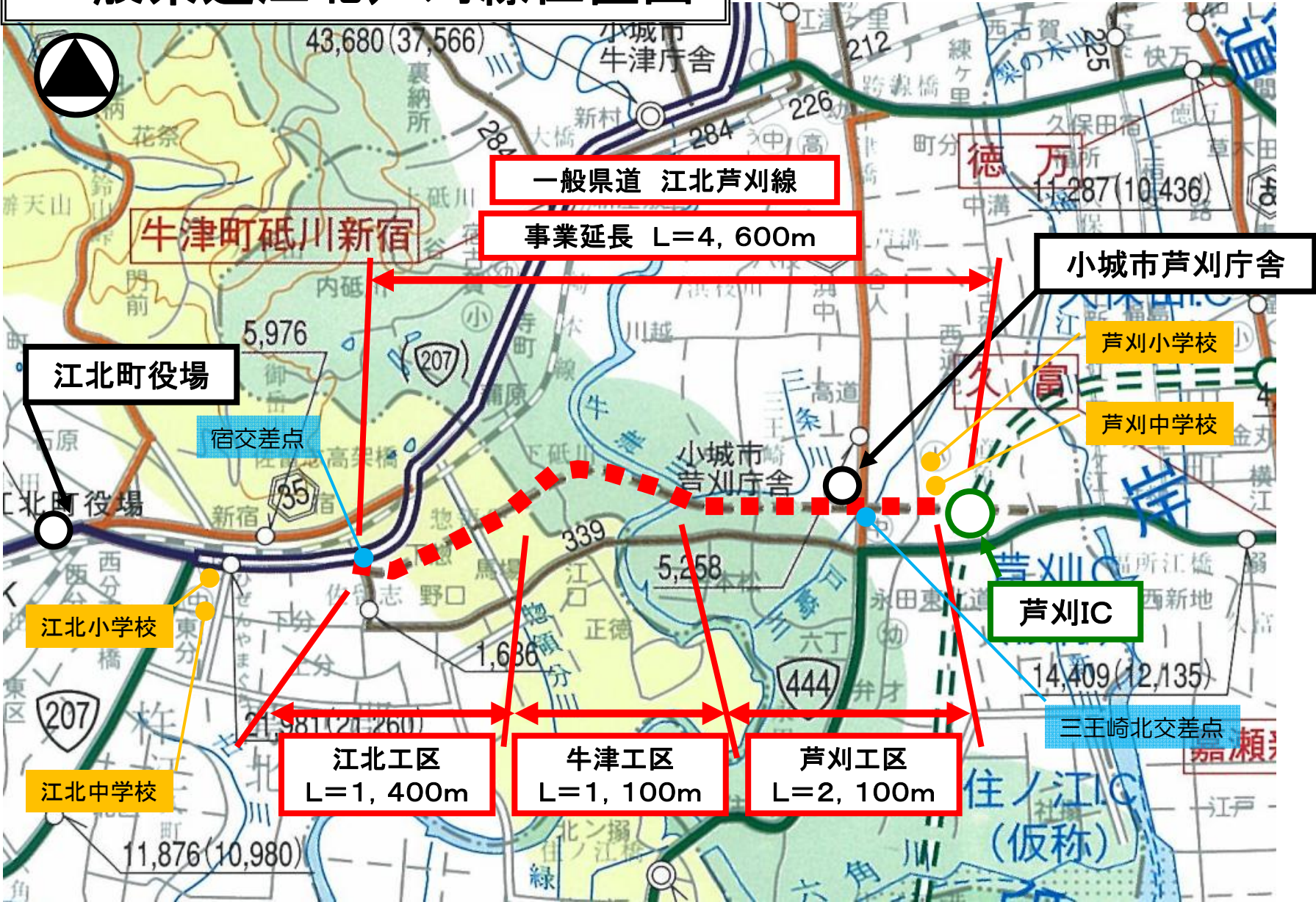
平成24年度 再評価委員会

路線名：一般県道 江北芦刈線

事業名：社会資本整備総合交付金事業

(再評価実施後5年経過のため再評価)

一般県道江北芦刈線位置図



事業目的

- 本路線は、江北町佐留志の国道34号と小城市芦刈町三王崎の有明海沿岸道路芦刈ICを結ぶ道路である。
- 現道は幅員が狭く歩道もないが、人家が連担しており、拡幅は事業費が嵩む等によりバイパス整備を計画している。
- 有明海沿岸道路と連携することにより、佐賀西部地域と佐賀市、有明佐賀空港との連絡強化を図る。

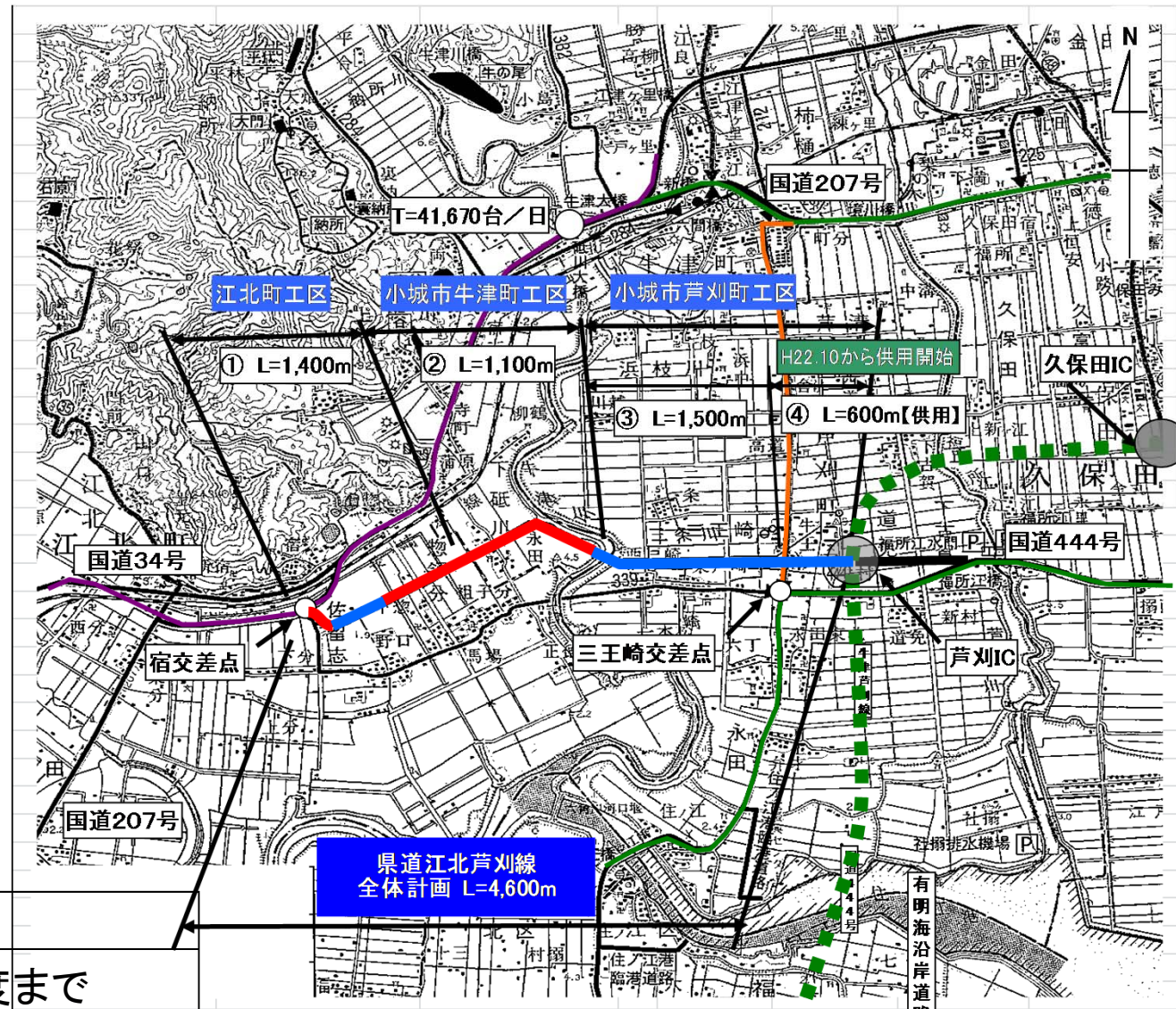
事業概要

- 全体事業費:126億円
- 工期:平成10年度～平成25年度(予定)
- 全体延長:L=4,600m
- 事業内容:改良工 L=4,211m
 - 橋梁工 2橋 (L=389m)
 - 用地買収 112,600㎡
 - 家屋補償 24戸

事業の進捗状況

	平成23年度まで	平成24年度	平成25年度以降
事業費(億円)	117.1	6.2	2.6
進捗率(%)	93.0	97.9	100.0
用地進捗率(%)	100.0	100.0	100.0

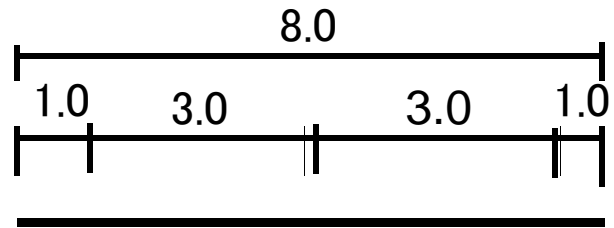
一般県道 江北芦刈線 平面図



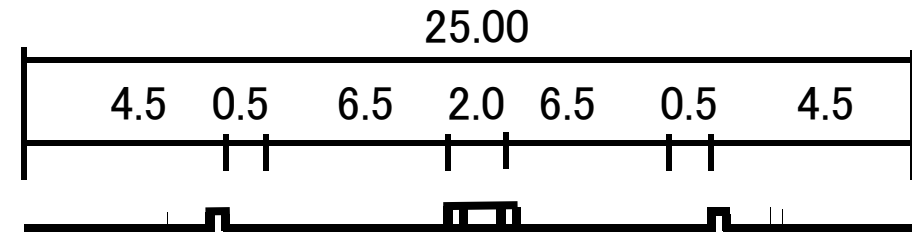
凡例	
青	平成23年度まで
赤	平成24年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

一般県道 江北芦刈線 横断図

現況



計画



平成24年 現地状況



中間から終点側を望む



中間から起点側を望む

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

平成17年度 2, 209台/日(現道)

平成22年度 1, 585台/日(現道)

平成24年度末想定(バイパス暫定2車線)

8, 800台/日~10, 200台/日

- 有明海沿岸道路との連携により、佐賀西部地域と佐賀市との最短ルートとなり交通量の増加が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 390.7 / 153.0 = 2.5$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	324.0億円
走行経費縮小便益	=	54.5億円
交通事故減少便益	=	12.2億円
合計		390.7億円

- 【費用】

事業費	=	150.2億円
維持管理費	=	2.8億円
合計		153.0億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 新県立病院の開院、有明海沿岸道路久保田IC～芦刈IC間の供用と連携することにより、佐賀西部地域と佐賀市との連携強化を図りたい。
- 用地買収が完了していることから、全区間の早期供用を図るため、引き続き事業を継続したい。